2009年（平成21年） 1／21

広報 まちだ

2008年 市制50周年
あなどれません。町田

第1567号
発行日　毎月3回1の日
（1日、11日、21日）

発行・町田市　編集・政策経営部広報広聴課広報係
〒194-8520　東京都町田市中町1－20－23
市役所の代表電話042・722・3111
町田市コールセンター042・724・5656
ホームページ　http://www.city.machida.tokyo.jp
携帯版　http://www.city.machida.tokyo.jp/mobile/
携帯電話用QRコード

市の宣言
◇男女平等参画都市宣言
◇非核平和都市宣言
◇青少年健全育成都市宣言
◇交通安全都市宣言

今号の紙面から

3面
パブリックコメント概要
町田市産業振興計画（案）
町田市民病院中期経営計画（案）
4面
保育料を改定します
10面
NPO・地域活動フェスティバル

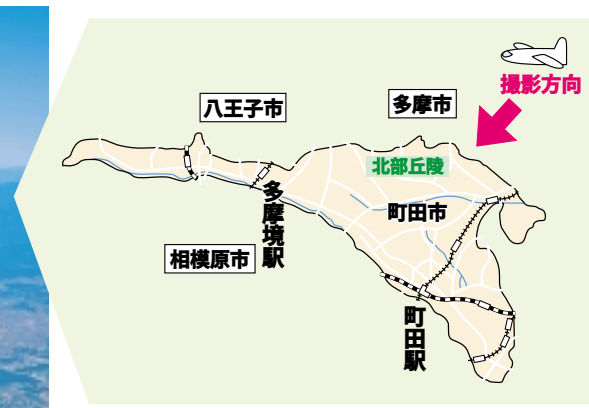
自然と出会う場所　北部丘陵地域

市の北部には、多摩ニュータウンと市の既成市街地の間にぽっかりと浮かぶ緑の丘陵地があります。上小山田町から小野路町方面へ広がる約1000ヘクタールのこの地は、鶴見川の源流域となっているほか、多摩丘陵のなつかしい原風景を残す自然豊かな地域です。

この地域の「美しい田園風景」の基本となっているのが、雑木林の丘を背景とした水田や畑の風景で、この農地と雑木林からなる環境を「谷戸山」と呼んでいます。

市では、「谷戸山」の自然が有する癒しや憩い、防災や治水、CO_2吸収など多面的な機能や意義を見直し、残された貴重な自然環境を良好な状態で次世代に引き継ぐため、「農」や「緑」の魅力を活かしたまちづくりを考えています。

今回、多くの皆さんに北部丘陵への関心をもっていただくため、シンポジウムを開催します。地域の魅力づくりのひとつとして期待される「農」とのふれあいにスポットをあて、憩い・育ち・癒し「農」のもつ魅力について語っていきます。詳細は右下をご覧下さい。



心を癒やす谷戸山の風景

市制50周年記念シンポジウム

みんなにひろがれ「農」の魅力

～憩い・育ち・癒される「自然」と出会う北部丘陵へ～

○日時　2月21日（土）午後1時～4時
○会場　町田市民フォーラムホール
○定員　160人（申し込み順）
○申し込み　1月21日正午から2月18日までに電話で町田市コールセンター（☎724・5656）へ。
※車椅子で来場の方は、申し込み時にお申し出下さい。
問北部丘陵整備課☎724・2164

プログラム
【第一部】「農」の魅力を日々伝えている、3人のパネリストの楽しいお話をお聞き下さい。
○テーマ　①家族や仲間で始める野菜づくり（アグリス成城マネージャー・宮城佳明氏）②人を育てる有機園芸（恵泉女学園大学職員・菊地牧恵氏）③楽しくおしゃれに農業！（オーガニック農場Kino Cafe代表・井波希野氏）
【第二部】　北部丘陵の紹介と共に、「自然」と出会う魅力づくりについて、各パネリストと市長が語ります。
○テーマ　みんなに広がれ「農」の魅力！

緊急経済対策を実施します

問企画調整課
☎724・2103

世界的な経済危機のなか、国内でも事業所の倒産や労働者の失業が生じており、町田市においても予断を許さない状況です。

事業者や市民の皆さんの不安を軽減するために、市の状況に即した緊急経済対策を、関係機関と連携を図りながら市をあげて迅速に行っていきます。

緊急経済対策の取り組み

Ⅰ　緊急経済対策本部の設置

市をあげて迅速に緊急経済対策を進めるため、市長を本部長とする緊急経済対策本部を庁内に設置しました。

Ⅱ　2008年度内に取り組む対策

①経済対策の実施

事業者の皆さんの受注機会を増やすとともに、資金調達の負担を軽減するため、公共工事等の前倒し実施や前払い金対象工事の拡大、中小企業融資制度の借換えに関する融資条件の緩和を実施します。

また、商業を活性化するため、町田市商店会連合会が実施するプレミアム商品券を支援します。

②実態調査の実施

柔軟かつ迅速に必要な対策を進めていくため、市内における求人・求職をはじめとする雇用の状況や、緊急融資に関する状況、生活保護に関する相談の状況など、事業活動や日常生活の変化を把握するための調査を、関係機関と協力して引き続き実施していきます。